



USB PAD CONTROLLER

PAD-One

取扱説明書

P.2~

OWNER'S MANUAL

P.11~

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
Web:www.vestax.jp E-Mail:cs@vestax.jp

Head Office
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Web:<http://www.vestax.com/>

Vestax Global Support
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support
cse@vestax.jp

ごあいさつ

この度は、ベスタクスPAD-Oneをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本機の性能を最大限に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

目 次

●ご使用上の注意	2
●安全上の注意	3
●本機の特長	4
●同梱品	4
●推奨動作環境	4
●コンピュータとの接続	4
●各部の名称と機能	5
●MIDI の設定方法	7
●ペロシティーと MIDI について	8
●主な仕様	9
●トラブルシューティング	9
●保証とアフターサービス	10

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、耐久性を超えた使い方をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めぎった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

ベスタクス PAD-One は、シンプルでコンパクト、重厚感のあるボディ、感性をダイレクトに伝える新開発シリコン PAD、躍動感あふれるイルミネーション PAD などの優れた機能を持つ、ライブパフォーマンスからトラックメイキングまで幅広く活躍するギアです。アルミダイキャスト製のボディは、過酷な現場使用にも耐えうる丈夫さを誇っています。

今までのコンパクトコントローラーでは、パソコン上のソフトウェアを起動しなければ MIDI 設定が出来ない、またそのエディター上で MIDI note をアサインしても音の確認が出来ない等のわずらわしさがありました。本機ではこのような不便さを解決し、イメージネーションのおもむくままにセットアップをすることが出来ます。

同梱品一覧

- ・USB ケーブル
- ・MINI MIDI⇔標準 MIDI 変換ケーブル
- ・本取扱説明書

※電源アダプタは付属していません。

推奨動作環境

Macintosh
OS: Mac OS X 10.4 以上
CPU: Intel または Power PC
USB ポート

Windows
OS: Windows XP SP2 以上
Windows Vista SP1 以上、Windows 7
CPU: Intel 社製推奨
USB ポート

コンピュータとの接続

■Windowsの場合

1. PAD-OneとコンピュータをUSBケーブルで接続します。



※ ご注意：コンピュータの USB 端子へ直接接続せずに、USB ハブをご使用になる場合や、コンピュータ自体の電源容量が十分ではない場合は、専用 DC アダプター (別売 SDC-7) が必要になる場合がございます。

Windows XP上では、まず「新しいハードウェアが見つかりました。」と表示され、次に[PAD-One] [USB複合デバイス]、[USBオーディオデバイス]のドライバーが自動的にインストールされていきます。
(2回目以降の接続や既にドライバーがインストールされている場合には上記メッセージが表示されない場合もあります。)

2. Windows XP上での確認方法は、「コントロールパネル」>「システム」>「ハードウェア」>「デバイスマネージャー」で USBコントローラの項目の中に「USB複合デバイス」(プロパティで「場所 PAD-One」)が表示され、デバイスの状態が「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されれば、コンピュータPAD-Oneの接続は正常に行われています。

■Macintoshの場合

1. PAD-OneとコンピュータをUSBケーブルで接続します。



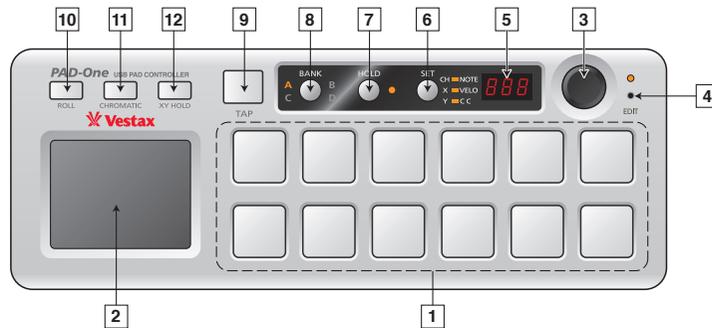
※ ご注意：コンピュータの USB 端子へ直接接続せずに、USB ハブをご使用になる場合や、コンピュータ自体の電源容量が十分ではない場合は、専用 DC アダプター (別売 SDC-7) が必要になる場合がございます。

2. Macintosh本体で認識しているか確認する場合には「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」を開き、「Audio MIDI設定」を起動します。「MIDI装置」タブをクリックして写真のように「PAD-One」が表示されます。「PAD-One」のアイコンをクリックしてプロパティを確認しましょう。

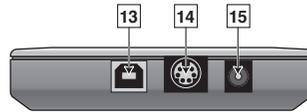


各部の名称と機能

トップ



サイド



番号	名称	機能	
1	PAD	<p>NOTE number と Control Change (CC) number を送信します。 ご注意: Control Change (CC) number は工場出荷時の設定は「OFF」になっています。</p>	<p>PAD の LED は MIDI が送信していないときはグリーン、MIDI が送信されているときはオレンジに光り、暗いところでも視認性があります。</p> <p>それぞれの PAD には NOTE number と Control Change number が両方割り当てられます。PAD にタッチして NOTE ON number を送信後、押す強弱によって Control Change number が送信されます。</p> <p>PAD を押す強弱または叩く強弱によって音量の大小を変えることができます。</p>
2	XY-PAD	<p>ROLL ボタン OFF: タッチしてなぞると Control Change または Pitch Bend を X(横)方向、Y(縦)方向からそれぞれ送信します。 ROLL ボタン ON: X軸で ROLL のスピード、Y軸で音量を変化させることができます。(このとき XY-PAD から Control Change または Pitch Bend は送信されません。)</p>	<p>X軸: ROLL ON (CHROMATIC ON 又は OFF) のときは、ROLL のテンポスピードを操作します。X軸上で左端は XY を触っていないときのテンポ(1/1)と同じテンポで、右端に向かって動かしていくと ROLL テンポのスピードが速くなります。</p> <p>Y軸: ROLL ON (CHROMATIC ON 又は OFF) のときは、ROLL の出力音量を操作します。Y軸上で下端は音量が小さくなり、上側に向かって動かしていくと音量が大きくなります。</p>
3	エンコーダ	<p>EDIT モードのとき、BANK の MIDI チャンネル、PAD の NOTE number、VELOCITY、Control Change number、XY-PAD の X 軸、Y 軸の Control Change number、Pitch Bend 等の設定を変更します。</p>	<p>BANK(A~D) の MIDI チャンネルや XY PAD の MIDI 内容を変更したい時は、EDIT モードにして (PAD 部分を触らずに) BANK ボタンを押して変更したい BANK(A~D) を選択します。その後 SET ボタンを押して CH、X 又は Y を選択し、ENCODER 操作で変更することが出来ます。</p> <p>PAD の MIDI 内容を変更したい時は、EDIT モードにして編集したい PAD を押して、SET ボタンで NOTE number、Velocity、Control Change number (CC) を選択すると、ENCODER 操作でその PAD の設定を変更することが出来ます。</p>
4	EDIT ボタン	<p>既に設定されている MIDI を使って PAD 演奏をする PLAY モード (EDIT ボタン上の LED 消灯) と、それぞれのファンクションの MIDI 設定を変更しながらリアルタイムで使用する EDIT モード (EDIT ボタン上の LED 点灯) を選択します。</p>	<p>EDIT モードのときは EDIT ボタン上部にある LED が光ります。</p> <p>EDIT モードでは、MIDI 内容を変更したい PAD を押すとその PAD はグリーン色に点灯し、エンコーダーを回すことで設定を変更出来ます。他の PAD も変更したい時は、変更したい PAD を押して続けて EDIT していくことが出来ます。EDIT モードの時も PLAY モードと同じく、EDIT 中の MIDI メッセージを出力することが出来るので、PAD の EDIT をしながら受信する側の MIDI アサイン状態を確認することが出来ます。</p> <p>ご注意: 変更した全ての MIDI 設定を保存する時は、EDIT モード状態から EDIT ボタンを 1 度押して PLAY モードに切り替わった時点で記憶されます。(その後、本体電源 OFF してもその設定は記憶されています。)</p>

番号	名称	機能	
5	7segment LED	PADのNOTE、VELO、CCの値や、TAPのテンポの値、BANKのMIDIチャンネルを表示します。	EDITモードで、Note number、Velocity、Control Change number、BANKのMIDIチャンネルを変更するとき、設定や値が表示されます。 PLAYモードでSETで、選択されているNOTE、Velocity、CCの設定や値、TAPボタンを押したテンポの値を表示します。
6	SET ボタン	PLAYモードの時は、SETボタンを押して、右にある7SEG LEDに表示する内容を選択します。(各PADのMIDI NOTE number、Velocity 値、Control Change numberの中から選択して表示することが出来ます。	EDITモードのとき、PADを押して、NOTE number、Control Change number (CC)、Velocity (VELO) から、どの設定を変更するか選択します。 EDITモードのとき、BANKボタンを押してA～Dを選択し、SETボタンでMIDIチャンネル、X軸、Y軸の中から、どの設定を変更するか選択します。 PLAYモードのとき、NOTE number、Control Change number (CC)、Velocity (VELO) から、どれを表示させるか選択します。
7	HOLD ボタン	PADを押した時のON/OFF動作を選択します。PLAYモード、EDITモード時において、HOLDボタンをON(点灯)にした時は、各PADはオルタネイト動作(1回押してON、もう一度押してOFF)となり、HOLDボタンをOFF(消灯)にした時は、各PADはモーメンタリー動作(押している間ON、離すとOFF)になります。	* ROLL ボタンがON(ROLLモード)の時は、このHOLDボタンのON/OFF状態でROLL動作が変わります。 HOLD ボタン=ON(点灯)状態 : XYパッドを触らなくても、PADを押す(ONする)ことでTAPボタンで設定されたテンポに合わせて、ROLL動作(リピート動作)になります。 HOLD ボタン=OFF(消灯)状態 : XYパッド+PADの同時操作時のみROLL動作(リピート動作)になります。
8	BANK ボタン	PLAYモード時は、4つのBANK(A, B, C, D)を切り替えます。EDITモード時はMIDIチャンネルの変更をするBANKを選択します。	PLAYモードの時は、4つのBANK(A, B, C, D)を切り替えて、それぞれのBANKで設定されたPADやXY-PADのMIDI設定を呼び出して使用することが出来ます。 EDITモードの時は、MIDIチャンネルを変更するBANKを切り替えたり、SETボタンでX, Yを選ぶとPADのX軸、又はY軸のMIDI Control Change number、PitchBendの設定を変更することが出来ます。
9	TAP ボタン	ROLL動作(リピート動作)の基本となるテンポを、TAPボタン入力力でリズムをとって設定することが出来ます。	電源ONの時、初期設定は120BPM(1分間に120回のビート)です。 曲に合わせて、TAPボタンを手動でタップするとROLL動作(リピート動作)時のテンポを設定出来ます。また、7Seg LED表示部分にタップしたBPMの値を表示します。
10	ROLL ボタン	PADの音源をくり返し再生します。	ROLLボタンがON(ROLLモード)の時は、PADを押す動作+XYパッドを触る動作でTAPボタンで設定したテンポを元にROLL動作(リピート動作)を行います。HOLDボタンをON(点灯)して、各PADをON(点灯)すると(XYパッド操作無しでも)、TAPテンポに合わせたROLL動作(リピート動作)を行い、複数のPADで簡単なリズムトラックを作ることが出来ます。 *ROLLモードをONの状態のまま、HOLDボタンをOFF(消灯)すると、通常のROLL動作(PADを押す動作+XYパッドを触る動作でROLLが始まる)になりますが、HOLDボタンON(点灯)の時に作ったリズムトラックはそのまま継続されます。(HOLDボタンON時にON(点灯)状態のPADは、そのままROLL状態が続きます。) これにより、数個のPADで簡単なリズムトラックを作ってリピートさせながら、その他のPADを使ってPAD演奏をすることが出来ます。
11	CHROMATIC ボタン	ROLL機能でXY-PADのX軸でテンポを変化させる時、連続ではなく左端から1→1/2→1/4→1/8→1/16→1/32の6段階でスピードで変化します。	テンポを連続的ではなく段階的に、テンポを倍または1/2ずつ規則的に変更することができます。
12	XY HOLD ボタン	XY HOLD ボタンがONのとき、XY-PADの設定をホールドします。	PLAYモードやEDITモードの時は、XY-PADから指を離れた位置でX軸、及びY軸の値が保持されます。ROLLモードの時も同じく、XY-PADから指を離れた位置でX軸(テンポ)、及びY軸(音量)の値が保持されます。
13	USB 端子	お使いのコンピュータのUSB端子と接続します。	本機のUSB端子に、コンピュータに接続されたUSBケーブルを差すと本体の電源がONになります。 ご注意: 本機はUSB電源だけで動作する仕様になっていますが、ご使用のコンピュータのUSB電源が不足している(又は不安定)時は、別売りのSDC-7のご使用をお勧めします。
14	MINI DIN 端子 (MIDI OUT)	外部MIDI機器とMIDIケーブルで接続します。	外部MIDI機器へMIDI信号を送り、本機で操作、演奏を行うことができます。
15	DC 電源端子	専用のDCアダプタ(SDC-7別売)を接続します。	アダプタ電源でPAD-Oneを操作することができます。

MIDI の設定方法

PAD-One の MIDI 設定

PAD-One は PAD や XY-PAD の MIDI メッセージや BANK の全体 MIDI チャンネルを、コンピュータの MIDI アプリケーションを使わずに、本体側で変更することが出来ます。また、これらの MIDI 設定を変更するときに、EDIT 中の MIDI メッセージを出力することが出来るので、PAD の MIDI メッセージを本体側で変更しながら、MIDI を受信する側の MIDI アサイン状態をリアルタイムで確認することが出来ます。

ご注意：EDIT モードで変更した全ての MIDI 設定を保存する時は、EDIT モード状態から EDIT ボタンを 1 度押して PLAY モードに切り替わった時点で記憶されます。(その後、本体電源 OFF してもその設定は記憶されています。)

BANK MIDI チャンネルと XY-PAD の設定

1. EDIT ボタンを押すと PLAY モードから EDIT モード (MIDI 編集モード) になり LED が点灯します。



2. BANK ボタンを押して、MIDI チャンネルや XY-PAD の設定を変更する BANK を選択します。

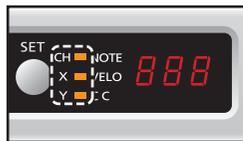


ご注意：このとき PAD が点灯していないことをご確認ください。もし PAD が点灯している場合は右の PAD MIDI 設定モードになっているので、BANK ボタンを押して PAD MIDI 設定モードを解除してください。

3. SET ボタンを押して変更する内容を選択します。
[CH：上 LED] 各 BANK の MIDI チャンネルを変更します。
(BANK A～D：MIDI CH 01～16)

[X 軸：中 LED] XY-PAD の X 軸 (横方向) のパラメーターを変更します。
(Control Change number 0-121, PitchBend)

[Y 軸：下 LED] XY-PAD の Y 軸 (縦方向) のパラメーターを変更します。
(Control Change number 0-121, PitchBend)



4. エンコーダーを回して MIDI チャンネルや XY-PAD のパラメーターを変更します。



EDIT モードでは、各パラメーターの変更と MIDI 出力操作を同時に行うことが出来ますので、変更しながらコンピュータのアプリケーション等で変更内容を確認することが出来ます。

PAD の MIDI 設定 (12PAD x 4 BANK)

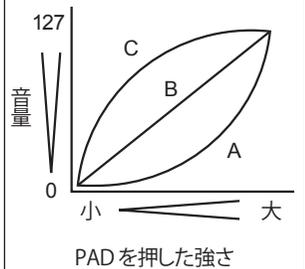
1. EDIT ボタンを押すと PLAY モードから EDIT モード (MIDI 編集モード) になり LED が点灯します。



2. MIDI 設定を変更する PAD にタッチします。



*Velocity(ベロシティ)は PAD を押したときの強弱によって音量を変化させる設定です。1～127 に設定された時は、常に PAD 強弱にかかわらずその音量値を出力し、A,B,C カーブに設定された場合は PAD 強弱によって以下の様に音量値が変化します。

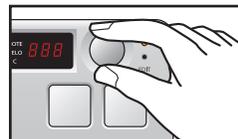


3. SET ボタンを押して変更する内容を選択します。
[NOTE：上 LED] PAD の MIDI NOTE number を変更します。
(MIDI NOTE number：0～127)
[VELO：中 LED] PAD の NOTE ON Velocity(PAD 感度) を変更します。
(VELOCITY：1～127, A, B, C カーブ)
[CC：下 LED] PAD の *アフタータッチコントロールのための Control Change Number を変更します。
(Control Change Number：OFF, 0～121)



*アフタータッチとは PAD を押した後に続けて PAD を押し続けると、その強さに応じて Control Change(CC) メッセージが出力されます。その CC をいろいろなパラメーターに割り当てることで様々な PAD 操作ニュアンスを演出できます。

4. エンコーダーを回して各パラメーターを変更します。



*PAD MIDI 設定時、BANK ボタンで変更する BANK を切り替えられます。

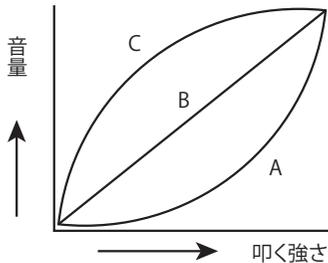


ベロシティと MIDI について

強弱法とベロシティ対応表

各 PAD のベロシティ設定は、PAD を叩いたときに常に同じ音量を出力する "固定値 (1 ~ 127)" と、PAD を叩いたときの強さに応じて音量が変わる "変化値 (A カーブ、B カーブ、C カーブ)" に設定出来ます。下記の表は、このベロシティ設定を固定値で設定する時の、音量の目安となる値と強弱法の対応表です。

ベロシティ設定	12	32	52	72	92	115
SNARE	pp	p	mp	mf	f	ff
KICK	pp	p	mp	mf	f	ff
ベロシティ設定	24	44	64	84	104	127



PAD を叩くときの強さと音響の強弱の変化の度合いを 3 種類の中から設定出来ます。

- A カーブ：小音量から中音量の強さを PAD を叩く強さで細かく変化させることが出来ます。音の最大値を出力させるためには PAD を強く押す必要があります。
- B カーブ：押す力と均等に音量が大きくなるカーブです。
- C カーブ：PAD を弱く叩いても、大きい音量を出しやすいカーブです。

MIDI NOTE 番号と音階の対応表

PAD-One で NOTE number を設定するとき、表示される NOTE number と音階との対応表は下記ようになります。

	C	C [#]	D	D [#]	E	F	F [#]	G	G [#]	A	A [#]	B
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
0	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
2	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
3	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
4	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
5	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83
6	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
7	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107
8	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
9	120	121	122	123	124	125	126	127				

*マスク欄は、88 鍵のピアノに対応したノート番号

C4	60
C [#] 4	61

ソフトウェアの種類によっては、ノート番号 60 を C3 と表記するものもありますが、この EDIT 機能でリアルタイムにノート番号を変更できるので、出力音を確認しながらセットできます。

ご注意：MIDI 規格では中央 Key=60 の設定となっています。ソフトウェアにより、この中央 Key を "C3" に設定しているものや "C4" に設定しているものがあります。上記表は中央を "C4"(C4=60) として設定している表ですが、ご利用になるソフトが中央 "C3"(=60) のときは、この表の値に 12 を加えて番号をセットしてください。

工場出荷時の設定に戻す方法

BANK ボタン、SET ボタンを同時に押しながら、Computer に接続された USB ケーブルを本機に挿入して電源を入れると、7segLED 部分に "res(リセット)" と表示され、数秒後に工場出荷状態の通常モードに変わります。

ご注意：リセット中 ("res" 表示) は USB ケーブルを抜かないでください。

主な仕様

電源電圧：5V(USB POWER)

消費電流：480mA

専用アダプター：Vestax SDC-7 (DC7.5V 1000mA) (※別売です。本品には付属されておりません。)

外形寸法：302(W)×111(D)×30(H)mm

重量：750g

- 製品の仕様、外観、システム環境条件は改良のため予告なく変更する場合があります。
- Vestax は Vestax Corporation の登録商標です。
- ここに記載されている他のすべての商標または登録商標はそれぞれの所有者に属します。

トラブルシューティング

症状	考えられる原因&処置
電源が入らない	USB ケーブルはきちんと接続されているかご確認ください。
コンピュータに認識されない	USB ケーブルを接続してからソフトウェアを起動してください。(起動順により PAD-One がコンピュータに USB オーディオ機器としてうまく認識されないことがあります)
	コンピュータの別の USB ポートへの接続をお試しください。(各 USB ポートの電源供給方式が異なることがあります)
	別の USB ケーブルにて接続をお試しください。(ケーブル不良の可能性があります)
	レジストリを削除してください (Windows にて使用する場合、レジストリが蓄積されていると USB デバイスを正常に認識できないことがあります)
	他に起動しているアプリケーション、無線 LAN、ウイルスソフト、常時起動ソフト、Bluetooth の使用を停止してください。
	ウェブカメラ等、他のドライバーが妨げになっている場合があります。その場合は一度ウェブカメラ等他のドライバーの使用を中止してください。
	別売の専用電源アダプタ (SDC-7) をご使用ください。(コンピュータの電源供給が不安定な場合、正しく認識されないことがあります) (2007 年以前に発売された Macbook または Macbook Pro をご使用の場合、Macintosh 本体の USB バスパワーの電源供給が足りないために、正しく認識されないことがあります)
コンピュータが PAD-One の最低動作環境を満たしているかご確認ください。 (使用するコンピュータが PAD-One の最低使用環境を満たしていない場合認識がうまくいかないことがあります)	

※1 製品と一緒に使用するコンピュータが記載する最低使用動作環境を満たしていない場合は、如何なる動作の保証も致しかねますこと、予めご了承ください。

※2 製品のサポート情報に関しては弊社サポートサイトの情報が常に最新となります。

上記に記載されていない項目以外にご不明な点がある場合は下記 URL をご参照ください。

弊社サポートサイト：URL www.help.vestax.co.jp

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
この期間は通産相の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の使用の問合わせ及びサポート

お問い合わせ：cs@vestax.jp

web: <http://www.vestax.jp>

●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

（保障期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に祭しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日：

お買い上げ店名：

電話：() —

CONGRATULATIONS!

Thank you for purchasing the Vestax PAD-One.
Please read through the owners manual thoroughly to use the PAD-One safely and at its best performance.

CONTENTS

1. SAFETY PRECAUTIONS	11
2. IMPORTANT SAFEGUARDS	12
3. FEATURES	13
4. ACCESSORIES	13
5. SYSTEM REQUIREMENTS	13
6. COMPUTER SETUP	13
7. FEATURES & FUNCTIONS	14
8. MIDI SETUP	16
9. VELOCITY & MID	17
10. SPECIFICATIONS	18
11. TROUBLE SHOOTING	18

SAFETY PRECAUTIONS

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN	
CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT REMOVE COVER (OR BACK) NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL		



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

IMPORTANT SAFEGUARDS

READ BEFORE OPERATING EQUIPMENT

This product was designed and manufactured to meet strict quality and safety standards. There are, however, some installation and operation precautions which you should be particularly aware of.

1. Read instructions-All the safety and operating instructions should be read before the appliance is operated.
2. Retain instructions-The safety and operating instructions should be retained for future reference.
3. Heed Warnings-All warnings on the appliance and in the operating instructions should be adhered to.
4. Follow Instructions-All operating and use instructions should be followed.
5. Cleaning-Do not use liquid cleaners or aerosol cleaners. Use a damp cloth for cleaning.
6. Attachments-Do not use attachments not recommended by the product manufacturer as they may cause hazards.
7. Water and Moisture-Do not use this product near water-for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink, or laundry tub, in a wet basement, or near a swimming pool, and the like.
8. Accessories-Do not place this product on an unstable cart, stand, tripod, or table. The product may fall, causing serious injury to a child or adult, and serious damage to the appliance. Use only with a cart, stand, tripod, bracket, or table recommended by the manufacturer, or sold with product. Any mounting of the appliance should follow the manufacturer's instructions, and should use a mounting accessory recommended by the manufacturer.
9. This product should never be placed near or over a radiator or heat register. This product should not be placed in a built-in installation such as a bookcase or rack unless proper ventilation is provided or the manufacturer's instructions have been adhered to.
10. Power sources-This product should be operated only from the type of power source indicated on the marking label. If you are not sure of the type of power supply to your home, consult your appliance dealer or local power company.
11. Lightning-For added protection of this product during a lightning storm, or when it is left unattended and unused for long periods of time, unplug it from the wall outlet. This will prevent damage to the product due to lightning and power-line surges.
12. Overloading-Do not overload wall outlets and extension cords as this can result in a risk of fire or electric shock.
13. Object and Liquid Entry-Never push objects of any kind into this product through openings as they may touch dangerous voltage points or short-out parts that could result in a fire or electric shock. Never spill liquid of any kind on the product.
14. Servicing-Do not attempt to service product yourself as opening or removing covers may expose you to dangerous voltage or other hazards. Refer all servicing to qualified personnel.

FEATURES

Vestax PAD-One

The Vestax PAD ONE is the most reliable PAD type MIDI controller you will ever experience. The anodized casing is compact, robust, reliable and built to live up to any heavy duty. The high-sensitive LED backlit silicon PADS convert your touch and pressure precisely into MIDI signals.

MIDI settings, which needed to be edited in music software or MIDI edit software, is not needed with the PAD ONE. All MIDI settings can be changed directly whenever you wish, and by having MIDI messages sent during editing you can check which sample/parameter you are assigning on the fly too.

ACCESSORIES

- USB Cable
- 6 PIN MIDI DIN⇔5 PIN MIDI DIN Convert Cable
- OWNER'S MANUAL

※POWER ADAPTOR (SDC-7) IS NOT INCLUDED

SYSTEM REQUIREMENTS

Macintosh

OS: Mac OSX 10.4 or higher
CPU: Intel or Power PC
USB Port

Windows

OS: Windows XP (SP2) / Vista / 7
CPU: Intel
USB Port

COMPUTER SETUP (USB CONNECTION)

■ Windows(XP)

1. Connect the PAD-One to your computer with the included USB cable.



※ NOTE: USB bus power can be insufficient if using a non-powered USB hub or if your computers power capacity is low. Please make sure to use a powered USB hub or the SDC-7 power adaptor.

A pop up message saying "New Hardware Detected" will appear. Windows will then automatically install necessary drivers for [PAD-One], [USB Composite Device] and [USB Audio Device]. (The pop message may not appear when connecting the PAD-One again or if necessary drivers have been installed.)

2. The PAD-One will appear in Device manager (Control Panel/System/Hardware/Device Manager) as "USB Composite Device" under Universal Serial Bus if connected and recognized correctly.

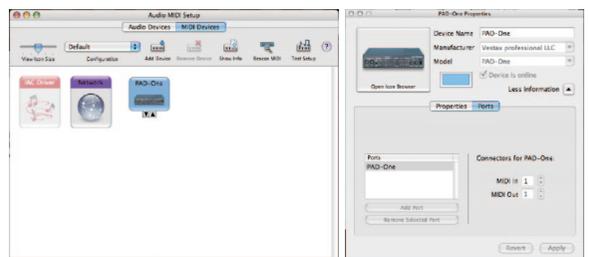
■ Macintosh

1. Connect the PAD-One to your computer with the included USB cable.



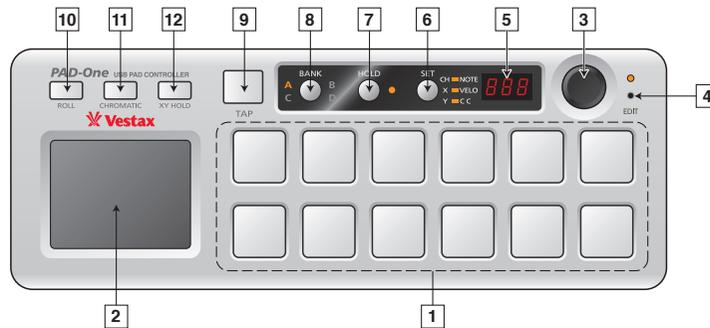
※ NOTE: USB bus power can be insufficient if using a non-powered USB hub or if your computers power capacity is low. Please make sure to use a powered USB hub or the SDC-7 power adaptor.

2. The PAD-One will appear in the Audio devices list in Audio MIDI Setup (Applications/Utilities/Audio MIDI Setup) as "PAD-One" if connected and recognized correctly.

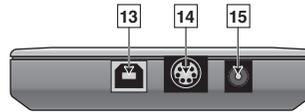


FEATURES & FUNCTIONS

TOP



SIDE



No	NAME	FUNCTION	
1	PAD	<p>Each PAD sends an assigned NOTE number or Control Change (CC) number. NOTE: Control Change (CC) numbers are turned off as default</p>	<p>PADs are lit in orange when a MIDI signal is sent and lit in green when not.</p> <p>A NOTE number and Control Change number can both be assigned to each PAD. A "NOTE ON" number will be sent first when the PAD is pushed. If assigned, a Control Change number will follow in order to the pressure applied to the PAD.</p> <p>The volume of an assigned sample will relate to how strong you push a PAD. (stronger→louder)</p>
2	XY-PAD	<p>ROLL OFF: Control Change and Pitch Bend messages are sent along the X axis/Y axis ROLL ON: The X axis changes the ROLL speed; the Y-axis changes the sound volume. (Neither Control Change or Pitch Bend messages is sent when ROLL is ON)</p>	<p>X-axis: Controls the ROLL speed when ROLL is ON (CHROMATIC ON/OFF). The far left of the X axis is the same speed as when the XY pad is not touched. (1/1) The speed will increase towards the right of the XY pad.</p> <p>Y-axis: Controls the output sound volume of the ROLL function, when ROLL is turned ON (CHROMATIC ON/OFF). The sound volume decreases towards the bottom of the XY pad and increases towards the top.</p>
3	ENCODER	<p>The encoder is used to select and change each banks MIDI channel, each PADs NOTE number, velocity, CC number, XY PAD CC number and Pitch Bend.</p>	<p>BANK MIDI Channel / XY PAD: Enter EDIT mode and push the bank button to switch banks (A - D). Then push SET to select CH, X or Y. Change the value with the encoder.</p> <p>PAD (NOTE, Velocity, CC): Enter EDIT mode and push a PAD to change the MIDI assign. Use the SET button to select NOTE, Velocity or CC and change the value with the encoder.</p>
4	EDIT	<p>Enters EDIT mode (the LED above the EDIT button turns on) to change MIDI settings. Functions are set to PLAY mode when the LED is off.</p>	<p>The LED above the EDIT button will light up when EDIT mode is entered.</p> <p>A PAD selected in EDIT mode will light up in green, the value can be changed with the Encoder. PADs can be edited continuously without exiting EDIT mode. MIDI messages are also sent out during EDIT mode. This enables to check if the desired sample is assigned correctly while you edit each PAD.</p> <p>NOTE: All changes made in EDIT mode are saved when EDIT mode is turned off and switched to PLAY mode. (settings will remain saved when power is turned off)</p>

NO	NAME	FUNCTION	
5	7 segment LED	Displays the TAP tempo, BANK MIDI channel and NOTE, Velocity, CC value of each PAD.	EDIT MODE: Displays NOTE number, Velocity, Control Change number and BANK MIDI channel
			PLAY MODE: Displays TAP tempo and the set NOTE number, Velocity and Control Change number of each PAD
6	SET	PLAY mode: Switches through NOTE, VELO (Velocity) and CC on the 7segment LED EDIT mode: Switches through NOTE, VELO, CC, CH(Channel), X axis and Y axis	PAD edit: Use the SET button to choose NOTE number, Control Change Number (CC) or Velocity (VELO) to edit
			BANK/XY edit: Use the SET button to choose MIDI channel (CH), X axis(X) or Y axis(Y)
			PLAY mode: Use the set button to choose which MIDI data you want to display
7	HOLD	ON/OFF button for PAD HOLD function. ON: Each PAD will continuously send MIDI messages once pushed and will stop when pushed again. OFF: Each PAD will send MIDI messages while each PAD is pushed	HOLD ON + ROLL: The ROLL function is applied to each PAD without touching the XY pad
			HOLD OFF + ROLL: The ROLL function is applied only when the XY pad is touched
			*Different ROLL functions are enabled when HOLD is turned ON.
8	BANK	PLAY mode: Selects the memory bank you wish to play EDIT mode: Selects the memory bank you wish to change the MIDI channel	PLAY MODE: MIDI settings for each PAD and XY pad can be saved in its BANK. Maximum 4 BANKs (A, B, C, D). EDIT MODE: Enables to edit BANK MIDI channel, XY pad CC number and XY pad pitch bend.
9	TAP	You can set the main tempo of the ROLL function by tapping this button	Default tempo is 120BPM (120 beats per minute)
			Tap the TAP button along to a track to set the tempo for the ROLL function. The entered BPM is displayed on the 7segment LED.
10	ROLL	The ROLL function enables samples to be played repeatedly along to a fixed tempo. For example, a single snare drum sample can be played like a drum roll.	ROLL ON: Trigger a PAD while touching the XY pad and the assigned sample will play with a ROLL effect. ROLL+HOLD: The ROLL effect is applied to each triggered PAD without touching the XY pad and remains until the PAD is turned off. This enables you to create simple rhythm tracks using multiple PADs. *tip: PADs triggered with ROLL + HOLD will remain playing when HOLD is turned off. Create a simple rhythm track, turn HOLD off and you can play samples along with the track you made.
11	CHROMATIC	Chromatic splits the set tempo assigned to the X axis into steps of 1→1/2→1/4→1/8→1/16→1/32 (from the left of the X axis)	The tempo can be changed in measured steps of halves and doubles.
12	XY HOLD	ON/OFF button for XY pad HOLD function	HOLD ON: The XY pad will stay triggered after releasing your finger. This applies as well when ROLL is turned on. HOLD OFF: The XY pad will trigger parameters only when touched.
13	USB	USB connection to send MIDI data to your computer	Power will automatically turn on when connecting the PAD ONE to your computer via USB connection. NOTE: The PAD ONE is designed to run on USB bus power. Although, if USB bus power is insufficient, please use the Vestax SDC-7 power adaptor.
14	MIDI DIN (MIDI OUT)	MIDI cable connection to connect the PAD ONE to other MIDI compatible devices	The PAD ONE can control and trigger other MIDI devices by connecting the two with the included MIDI DIN convert cable.
15	DC POWER	Connection for the Vestax SDC-7 power adaptor	Please use the power adaptor when USB bus power is insufficient.

MIDI SETUP

MIDI messages and BANK MIDI channels can be edited without running a MIDI application on your computer. MIDI messages are sent out during edit as well, which means you can check if you have the correct sample/parameter you want to assign while changing the value.

NOTE: All changes made in EDIT mode are saved when EDIT mode is turned off and switched to PLAY mode. (Settings will remain saved when power is turned off)

BANK & XY PAD setting

1. Push the EDIT button and enter EDIT mode. The LED above the EDIT button will turn on.



2. Push the BANK button and select the data bank you wish to edit.



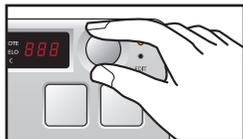
NOTE: All changes made in EDIT mode are saved when EDIT mode is turned off and switched to PLAY mode. (Settings will remain saved when power is turned off)

3. Push the SET button to select the MIDI data you wish to edit

- [CH] Edits each banks MIDI channel.
(BANK A - D: MIDI CH 01 - 16)
- [X-axis] Edits the parameter of the XY pads X axis
(Control Change number 0 - 121, Pitchbend)
- [Y-axis] Edits the parameter of the XY pads Y axis
(Control Change number 0 - 121, Pitchbend)



4. Turn the Encoder and choose a MIDI channel or change the XY pad value.

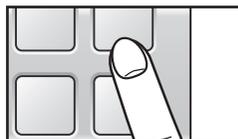


PAD setting (12 PAD x 4 BANK)

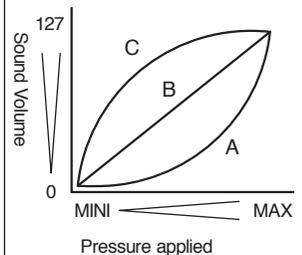
1. Push the EDIT button and enter EDIT mode. The LED above the EDIT button will turn on.



2. Push the PAD you want to edit



※[Velocity] is a parameter setting which chains the sound volume of a triggered sample to how strong the PAD was pushed. When set between 1 -127, the volume will output at that fixed value. When set to curve A, B or C, the volume will change in order to how strong a PAD is pushed.



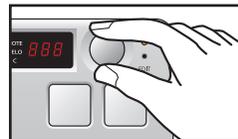
3. Push the SET button to select the MIDI data you wish to edit

- [NOTE] Edits each PADS MIDI NOTE number.
(MIDI NOTE number: 0 - 127)
- [VELO] Edits each PADS NOTE ON velocity (sensitivity)
(VELOCITY: 1 - 127, A, B, C curve)
- [CC] Edits the Control Change number for after touch control
(Control Change number: OFF, 0 - 121)

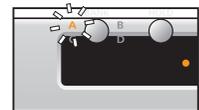


※After touch is a feature which enables Control Change messages to be output in order to how strong the PAD was pushed. Assigning CC messages to various parameters enables you to trigger software effects while playing a sample assigned to a MIDI note.

4. Turn the encoder and change the value of each parameter



※ You can choose the BANK you wish to change PAD MIDI settings by pushing the BANK button



MIDI messages are sent even when you are editing each controls MIDI setting. This enables you to edit and confirm the new setting with the application software you are using.

VELOCITY & MIDI

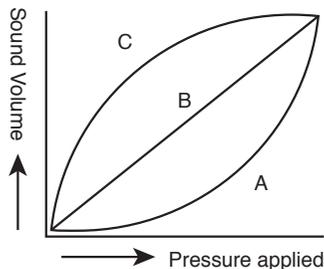
Dynamics Note Velocity chart

Each PADS velocity can be set to a fixed value between 1~127 or to a curve value (A,B, or C) which changes the sound volume in order to how strong you push a PAD.

The chart below shows the corresponding dynamics for each velocity value.

(pp=pianissimo, p=piano, mp=mezzo piano, mf=mezzo forte, f=forte, ff=fortissimo)

Velocity setting	12	32	52	72	92	115
SNARE	pp	p	mp	mf	f	ff
KICK	pp	p	mp	mf	f	ff
Velocity setting	24	44	64	84	104	127



Each curve has a different characteristic of how the volume changes.

A curve : Changes the volume in a small – mid range. You need to push hard to output the largest value.

B curve : An even volume correspondence to the pressure applied

C curve : Large volume with a light touch

MIDI NOTE & SCALE chart

The chart below shows the corresponding musical note for each MIDI NOTE number

	C	C [#]	D	D [#]	E	F	F [#]	G	G [#]	A	A [#]	B
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
0	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
2	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
3	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
4	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
5	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83
6	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
7	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107
8	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
9	120	121	122	123	124	125	126	127				

※The colored items are the NOTE numbers corresponding to an 88key piano

C4	60
C [#] 4	61

Certain music software may have NOTE #60 as C3. This can be easily changed and checked in EDIT mode.

NOTE: The center key is set to NOTE# 60 as a MIDI standard but can be found set as “C3” or “C4” depending on which music software you are using. The chart above shows the center as “C4”(C4=60). If your music software has the center set to “C3”(=60), assign the MIDI NOTE adding 12 to the chart.

HOW TO RESET YOUR PAD ONE TO DEFAULT SETTING

Push the BANK button and SET button together while turning the PAD ONE on. (Connect the PAD ONE to a computer via USB) The 7seg display will show “res” and the PAD ONE will be reset to factory default setting.

NOTE: DO NOT unplug the USB cable or shutdown your computer while the “res” message is shown.

SPECIFICATIONS

POWER : 5V(USB POWER)

POWER CONSUMPTION : 480mA

POWER ADAPTOR : Vestax SDC-7 (DC7.5V 1000mA) ※POWER ADAPTOR IS NOT INCLUDED

MEASUREMENT : 302(W)×111(D)×30(H)mm

WEIGHT : 750g

- Design, features and system requirements are subject to change without notice for future improvements.
- Vestax is a registered trade mark of Vestax Corporation.
- All brand names and product names are registered trademarks of their respective companies.

TROUBLE SHOOTING

PROBLEM	SOLUTION
The PAD-One doesn't turn ON	Please check if the USB cable is connected correctly to the PAD-One and your computer.
The computer doesn't identify the PAD-One	Please activate the software after connecting the USB cable. (Order of activation can cause the computer not to identify the PAD-One as a USB audio device)
	Try all USB ports on your computer. Certain USB ports of the computer may have different USB power structures than other ports.
	Test with another USB cable. (Possible USB cable failure)
	Clean up the registry of your computer.(for Windows users) (When used with a Windows OS, USB devices may not be identified correctly if the registry is cluttered.)
	Stop using all other applications such as WiFi, Virus software, Bluetooth, and generally activated software's.
	Drivers for other devices such as webcams can be an obstruction. In this case please suspend using web cams and all other connected drivers.
	Try using the exclusive power adaptor (SDC-7). (PAD-One may not be identified correctly when the computer's power supply is unstable.
	Check if your computer fulfills the minimum system requirements of the PAD-One and software. (The PAD-One may fail to sync with your computer if it does not fulfill the minimum system requirement.)

※1 Please note operation with computers with less specification than the minimum system requirements is not guaranteed.

※2 Latest product support, FAQ and downloads is available from the Vestax support website.
Please refer the support website for updated information. www.help.vestax.co.jp/en/

